

令和2年度 門真市営住宅 指定管理者総合評価

【評価対象年度】：令和元年度

施設のサービス水準の視点 コメント

市営住宅の協定書・仕様書等に基づいたサービスが概ね実施されており、入居者の立場に立った施設管理が行われている。また、家賃の収納については、収納率の向上のために根気強く未納者へ連絡をとっており、滞納整理にご協力をいただいている。
自主事業においては、見守り安否確認や団地内の樹木剪定・草刈り・簡易清掃等を実施しており、入居者からの継続要望も多い。また、「いきいき百歳体操」や「サロン」の開催を通じて、入居者のレクリエーションにも尽力されていることから、今後ともこれらの事業の拡充に努めてもらいたい。

収支状況 コメント

収支状況については、支出の実績が予算額を下回っており、昨年度に続き良好であると判断した。保守点検・修繕については、指定管理者独自で行うことで費用を低廉に抑える努力がなされており、今後も効率的な経営を図られたい。

市による総合評価 コメント

修繕業務については、指定管理者所属の技術者による対応を行っているものもあり、迅速化・低廉化に努めていただいている。家賃の収納率向上にも依然粘り強く取り組まれているので、99.67%という前年度を上回る高い収納率を達成できた。
入居者からも昨年度に引き続き良好な評価をいただいておりますが、一部、市と指定管理者との間で、業務の実施主体などについて齟齬が生じている部分もあるので、それらの解消について検討・調整を行っていただきたい。
これらのことを踏まえ、おおむね良好な水準で施設運営がされていると考え、総合評価を「B」とした。

総合評価

B

総合評価区分凡例

- A： 協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B： 概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C： 協定事項等の水準以下であった